

軽量直張天井

(グラスウールボード 25・50mm 仕様)

標準施工要領書

目 次

安全に関するご注意（取扱注意事項）	．．．．． 2
設計・施工上の重要品質基準	．．．．． 2
第 1 章 一般事項	
1－1 適用範囲	．．．．． 3
1－2 部材の名称	．．．．． 4
1－3 部材一覧	．．．．． 5
1－4 部材および方向の表記方法	．．．．． 7
第 2 章 標準施工要領	
2－1 墨出し	．．．．． 8
2－2 クリップおよび野縁の取付け	．．．．． 8
2－3 ベース材の取付け	．．．．． 10
2－4 グラスウールボードとカバー材の取付け	．．．．． 12
2－5 点検・検査	．．．．． 12
第 3 章 納まり施工例	
3－1 開口部補強例	．．．．． 13
付属 施工チェックリスト	．．．．． 16



安全に関するご注意(取扱注意事項)

1. 搬入時、資材の落下やずり落ちによるケガを防ぎ、腰を痛めないようにしてください。(現場での小運搬は無理のないようにご注意ください。)
2. 鋼材の切り口は鋭利であり、また、切断時にはバリも生じ易いので、手を傷つけないようにしてください。(軍手等の保護手袋を着用してください。)
3. 素手による取扱い、または素肌の露出部はケガをする恐れがあるため注意してください。(素肌をなるべく避けるような服装にしてください。)
4. 梱包用スチールバンドおよび針金等の切断時にはねあがり等によるケガに注意してください。(梱包をとく場合は状況判断して作業してください。)
5. 搬入時や保管時について次のような事項に注意してください。
 - ①原則として、屋内の湿気の少ない場所に保管してください。(やむを得ず屋外に置く場合には防水シートをかけてください。)
 - ②製品は地面に直接置かず、平らなところにかい木をして水平に置き、積み重ねる場合は間木を施して荷崩れを起こさないように置いてください。
 - ③クレーン荷揚げ等の運搬に関しては、布製平型吊りバンドを使用するなど、製品の角や表面の損傷に注意してください。また、製品の上に重いものを載せないでください。
6. 天井に重量物を固定すると落下、脱落により、思わぬケガをしたり天井面を破損したりすることがあります。(必要に応じ所定の補強をしてください。)
7. 壁に資材を立てかけたりすると倒壊により思わぬケガをすることがあるので、壁には資材を立てかけないでください。
8. 天井に乗ったりぶら下がったりすると落下、脱落によりケガをすることがあります。(危険な行為はしないでください。)
9. 天井から物を吊るしたり、物を載せたりすると落下や脱落によりケガをしたり、天井周辺を破損することがあります。(所定の強度を有する構造にしてください。)



設計・施工上の重要品質基準

設計上の留意事項

1. 鋼製天井下地材の構造は、照明器具や各種設備機器類の荷重を考慮されておりませんので、これらの機器類は、個々に所定の強度・剛性を有する構造および取付け方法にしてください。
2. 特殊な場所や環境性能を要求される場所は、耐食性などを配慮した設計にしてください。
3. 温度(50℃以下)・湿度(相対湿度80%以下)の条件での使用を推奨致します。条件を超える場合にはご配慮を御願い致します。特に塩ビジョイナーには熱膨張があります。塩ビの線膨張係数は、0.07mm/m・℃です。
4. 室内外の温湿度が著しく異なる部屋、極端な乾湿の繰返しがある部屋などでの使用は、天井板のシワ、隙間、反りなどが発生する可能性があるため、温湿度環境を配慮した設計として下さい。
5. 天井板は軟質材料であるため、斜光により天井板表面に凹凸があるように見える場合がありますのでご容赦下さい。

施工上の留意事項

1. 鋼製下地のく(軀)体への取付けやインサートとの接合は確実に堅牢に行ってください。
2. 配管、空調ダクト、空調機器、照明器具等と鋼製下地はそれぞれ独立して取付けてください。
3. 温度(5～30℃)、湿度(相対湿度80%以下)での施工を推奨致します。条件を超える場合にはご配慮を御願い致します。特に塩ビジョイナーには熱膨張があります。塩ビの線膨張係数は、0.07mm/m・℃です。

第1章 一般事項

1-1 適用範囲

この施工要領書は、ぶどう棚や屋根母屋材等の支持構造部(以下「支持構造部」という。)に直接野縁を固定し、塩ビジョイナーを用いてグラスウールボードを設置する「軽量直張天井(グラスウールボード 25・50mm 仕様)」の標準施工方法について規定する。

※支持構造部は別途工事(鉄骨工事)とし、本施工要領では適用範囲外とする。

※天井端部には条件があるため事前に計画すること。(図 1-2-2 参照)

計画、施工に先立ち以下①～④の事項が発生する場合には、計画変更等の可能性がある為、十分に注意すること。

①支持構造部のピッチが@900mm を超える場合

②支持構造部の下部に水平ブレース等が設置されており天井を施工できない場合

※支持構造部の下端から下記の空間が無いと施工不可

・ グラスウールボード 25mmの場合 80mm 程度

・ グラスウールボード 50mmの場合 100mm 程度

③支持構造部のレベルの精度が悪く、クリップおよびクリップ補強金具を使用して支持構造部に野縁を取付けられない場合

(※アジャストソエルの調整高さは±7.5mmとする)

④支持構造部のサイズがクリップおよびクリップ補強金具と対応不可の組み合わせになっている場合

⇒別途検討もしくは別工法への計画変更

1-2 部材の名称

各部材および附属金物の名称は、次による。(図 1-2-1 参照)

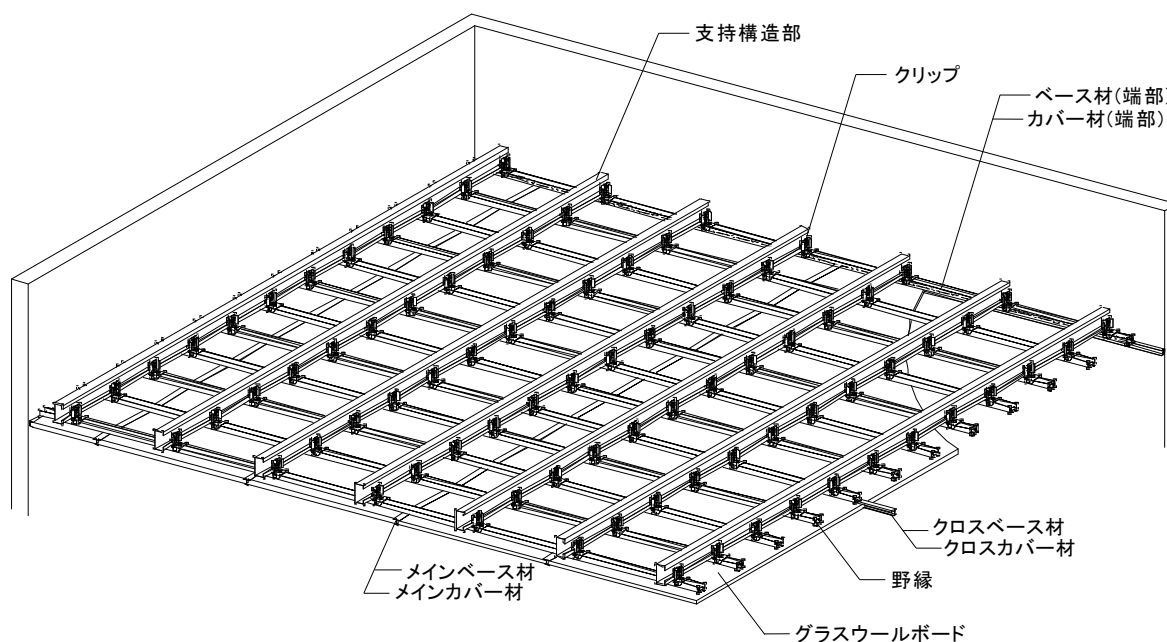


図 1-2-1 (例図) 軽量直張天井(グラスウールボード 25・50mm 仕様)

また、標準施工に対応する支持構造部の部材を示す。

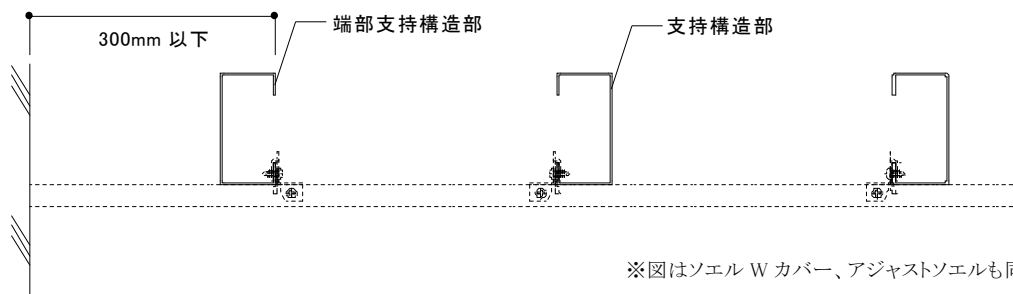
ソエル W カバーを使用する場合

- ・ C-75×45×15×1.6
- ・ C-75×45×15×2.3
- ・ C-100×50×20×1.6
- ・ C-100×50×20×2.3

アジャストソエルを使用する場合

- ・ C-100×50×20×2.3

※クリップの種類によって対応する支持構造部が変わることに注意



※図はソエル W カバー、アジャストソエルも同様

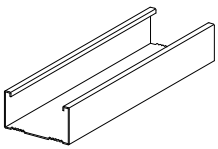
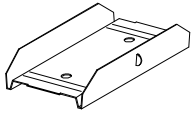
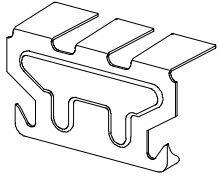
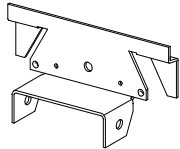
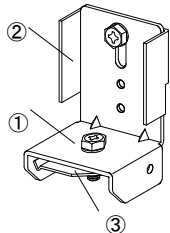
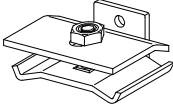
図 1-2-2 支持構造部の配置例

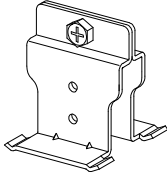
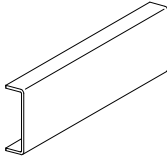
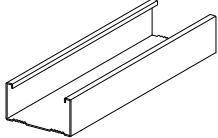
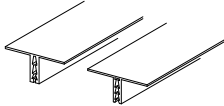
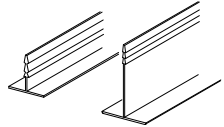
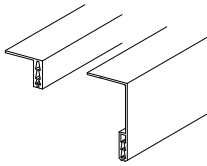
端部支持構造部はリップ面が部屋内側になるよう配置されていることを確認すること。

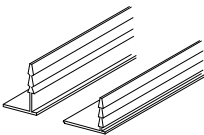
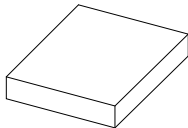
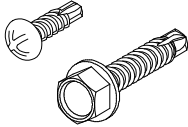
※配置されていない場合で、施工可能な場合はそのまま問題ない。施工不可の場合は新設を検討すること。

1-3 部材一覧

軽量直張天井(グラスウールボード 25・50mm 仕様)を構成する各部の部材一覧を以下に示す。

	部 材 名 称	塩ビジョイナー用下地
	品 名	25 形 W バー(0.8) [25×50×0.8]
	規格・材質	JIS G 3302 SGCC
	表 面 処 理	Z12
	備 考	
	部 材 名 称	野縁ジョイント
	品 名	25 形 W バー(0.8)用ジョイント[t0.5mm]
	規格・材質	JIS G 3302 SGCC
	表 面 処 理	Z12
	備 考	
	部 材 名 称	クリップ
	品 名	特殊 15mmW クリップ[t0.6mm] 特殊 20mmW クリップ[t0.6mm]
	規格・材質	JIS G 3302 SGCC
	表 面 処 理	Z12
	備 考	
	部 材 名 称	クリップ補強金具
	品 名	ソエル W カバー
	規格・材質	JIS G 3302 SGCC
	表 面 処 理	Z12
	備 考	
	部 材 名 称	クリップ
	品 名	アジャストソエル [①:t2.3mm、②:t1.6mm、③:t1.2mm]
	規格・材質	JIS G 3302 SGCC または SGHC
	表 面 処 理	Z12
	備 考	附属部品:アプセットボルト(M6)
	部 材 名 称	開口補強クリップ
	品 名	RP-W クリップ [上板、下板 t2.3mm]
	規格・材質	JIS G 3302 SGHC
	表 面 処 理	Z12
	備 考	附属部品:根角ボルト(M6)、ナット(M6) 開口部の補強野縁受け固定に使用

	部 材 名 称	開口補強クリップ
	品 名	耐風圧 W クリップ(C38 用) [t1.6mm]
	規格・材質	JIS G 3302 SGHC
	表 面 処 理	Z12
	備 考	附属部品:アプセットボルト(M6) 開口部の補強野縁受け固定に使用
	部 材 名 称	補強野縁受け
	品 名	CC-19 [C-38×12×1.2]
	規格・材質	JIS G 3302 SGCC または SGHC
	表 面 処 理	Z12
	備 考	開口部の補強に使用
	部 材 名 称	補強野縁
	品 名	25 形 W バー(0.8) [25×50×0.8]
	規格・材質	JIS G 3302 SGCC
	表 面 処 理	Z12
	備 考	
 (左) GW25mm仕様専用 (右) GW50mm仕様専用	部 材 名 称	塩ビグラスウールジョイナー
	品 名	・GW ジョイナーベース(マグ・イゾベール(株)製) ※グラスウールボード 25mm仕様専用 ・17-50 グラスウールジョイナーベース((株)サトウ功材製) ※グラスウールボード 50mm仕様専用
	規格・材質	硬質塩化ビニル
	表 面 処 理	
	備 考	L=2730mm
 (左) GW25mm仕様専用 (右) GW50mm仕様専用	部 材 名 称	塩ビグラスウールジョイナー
	品 名	・GW ジョイナーカバー25(マグ・イゾベール(株)製) ※グラスウールボード 25mm仕様専用 ・17-46 グラスウールジョイナー50((株)サトウ功材製) ※グラスウールボード 50mm仕様専用
	規格・材質	硬質塩化ビニル
	表 面 処 理	
	備 考	L=2730mm
 (左) GW25mm仕様専用 (右) GW50mm仕様専用	部 材 名 称	塩ビグラスウールコーナー
	品 名	・GW コーナーベース(マグ・イゾベール(株)製) ※グラスウールボード 25mm仕様専用 ・17-56 グラスウールコーナベース 50((株)サトウ功材製) ※グラスウールボード 50mm仕様専用
	規格・材質	硬質塩化ビニル
	表 面 処 理	
	備 考	L=2730mm

 (左) GW25mm仕様専用 (右) GW50mm仕様専用	部 材 名 称	塩ビグラスウールコーナー
	品 名	・GW コーナーカバー25(マグ・イゾバー(株)製) ※グラスウールボード 25mm仕様専用 ・17-55 グラスウールコーナカバー50 ((株)サトウ功材製) ※グラスウールボード 50mm仕様専用
	規 格 ・ 材 質	硬質塩化ビニル
	表 面 処 理	
	備 考	L=2730mm
	部 材 名 称	グラスウールボード
	品 名	イアルマグストーン(t25・t50、64K) ・実寸法 [標準モジュール] ・592×1192 [600×1200] ・892×892 [900×900] ・892×1792 [900×1800] ・992×1492 [1000×1500]
	規 格 ・ 材 質	JIS A 6301 吸音材量 JIS A 9504 人造鉱物繊維保湿剤
	表 面 処 理	ペイント仕上げガラスクロス張り
	備 考	マグ・イゾバー(株)製 不燃材料 (認定番号:NM-8610) 受注生産品
	部 材 名 称	セルフドリリングビス
	品 名	KIRII 耐震ビス(PAN:4.2×16mm 以上) KIRII 耐震ビス(PAN・HEX:4.8×25mm 以上)
	規 格 ・ 材 質	JIS B 1124 認証品 ※高耐食仕様のみ JIS B 1124 準拠品
	表 面 処 理	Fe/Zn3c1B 以上 ※ステンレスのビスを用いる場合はサスガード SG 処理品を使用すること。
	備 考	※打ち込み対象部材の合算した総板厚が 3.2 mmを超える場合は、4.8×25mm 以上のビスを使用すること。 ※使用できるビスについては、別添付録資料を参照のこと。

1-4 部材および方向の表記方法

この施工要領書での部材および方向の表記方法は以下の通り。

- ・ GW ジョイナーベース、17-50 グラスウールジョイナーベース : ベース材
- ・ GW コーナーベース、17-56 グラスウールコーナベース 50 : ベース材(端部)
- ・ GW ジョイナーカバー25、17-46 グラスウールジョイナー50 : カバー材
- ・ GW コーナーカバー25、17-55 グラスウールコーナカバー50 : カバー材(端部)
- ・ 野縁直交方向のベース材およびカバー材 : メインベース材・メインカバー材
- ・ 野縁方向のベース材およびカバー材 : クロスベース材・クロスカバー材

第2章 標準施工要領

2-1 墨出し

支持構造部に野縁を設置するための墨を出す。野縁は@300mm 程度とし、グラスウールボードのサイズによって調整する。

2-2 クリップおよび野縁の取付け

野縁のはね出しは 300mm 程度を標準で配置する。

- ・「ソエル W カバー」を使用する場合

特殊クリップにて野縁を仮設置した後にソエル W カバーを取付け、ビス固定する。(図 2-2-1、2-2-2 参照)

※ソエル W カバー単独での使用は不可とする。

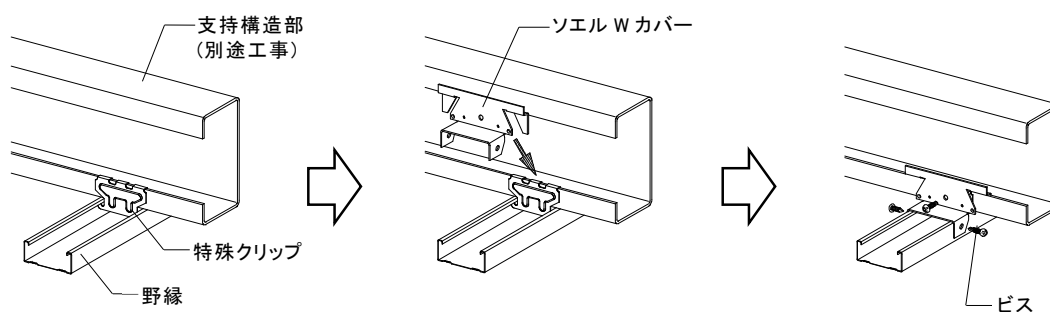


図 2-2-1 ソエル W カバーの施工方法

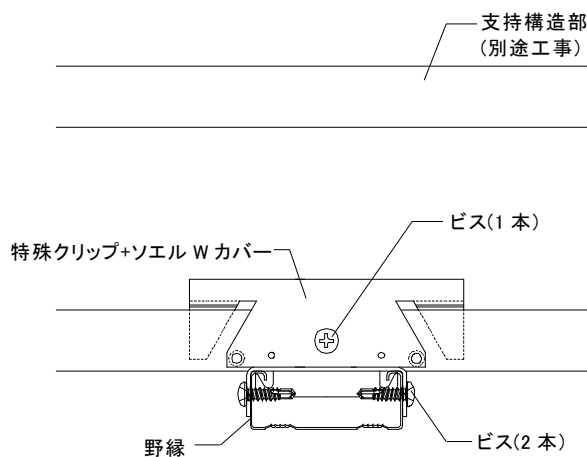


図 2-2-2 ビス固定部詳細

・「アジャストソエル」を使用する場合

- ①アジャストソエルのアプセットボルトを手締め等して支持構造部に仮設置する。
- ②野縁をアジャストソエルに挿し込む。
- ③野縁固定用ボルトをインパクト等で締め込む。
- ④アジャストソエルと野縁側面を所定のビス 2 本/箇所 で固定する。
- ⑤野縁を上下させてレベルを調整し、アジャストソエルのアプセットボルトをインパクト等で締め込み仮固定する。その際、基準位置となるアジャストソエルと支持構造部を所定のビス 1 本/箇所 で固定を推奨する。
- ⑥アジャストソエルが①で出した墨位置にあることを確認し、支持構造部と所定のビス 1 本/箇所 で全数固定する。(図 2-2-3、2-2-4 参照)

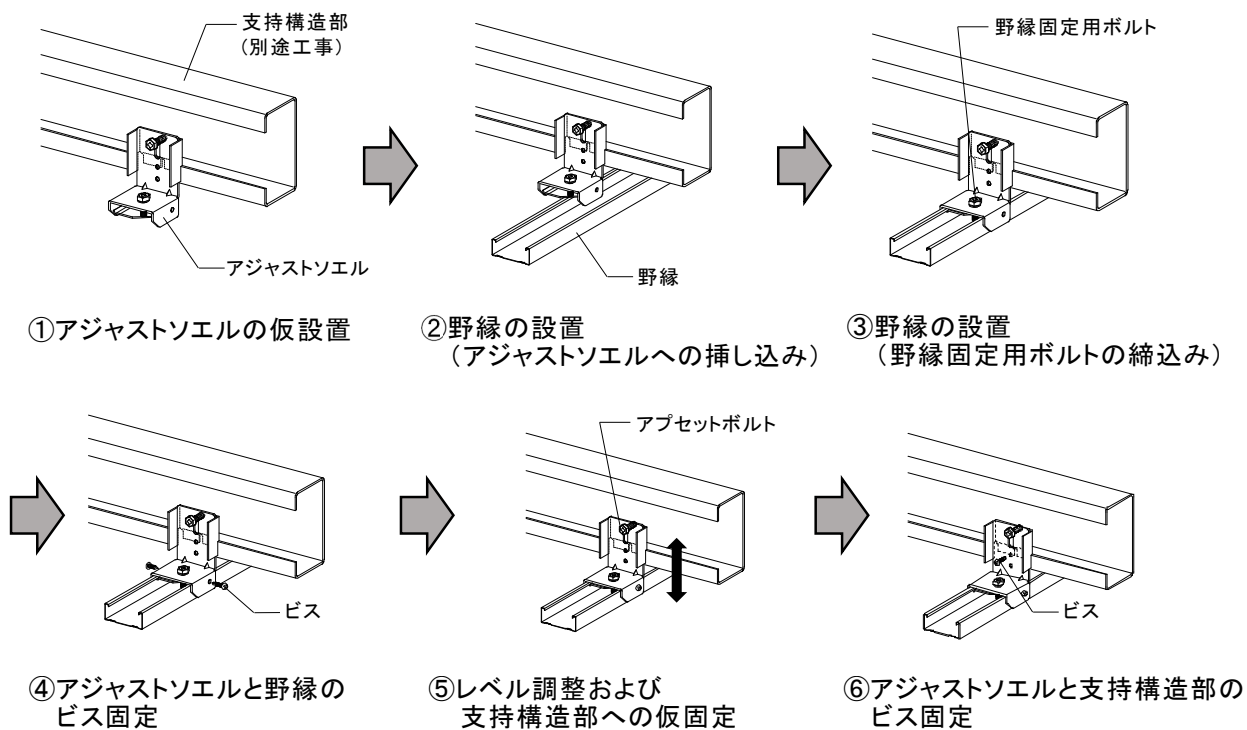


図 2-2-3 アジャストソエルの施工方法

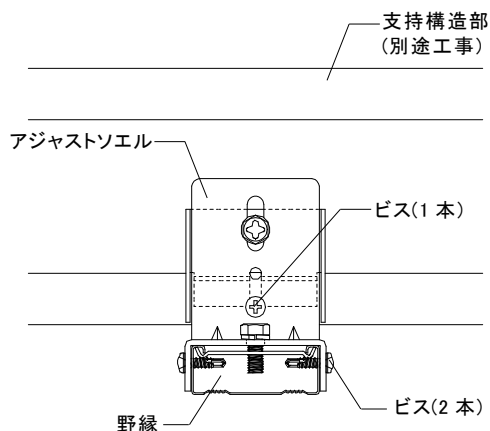


図 2-2-4 ビス固定部詳細

野縁の継手には野縁ジョイントを使用し、隣り合う野縁のジョイント位置は、互いに1m 以上離して千鳥状に配置する。(図 2-2-5 参照)

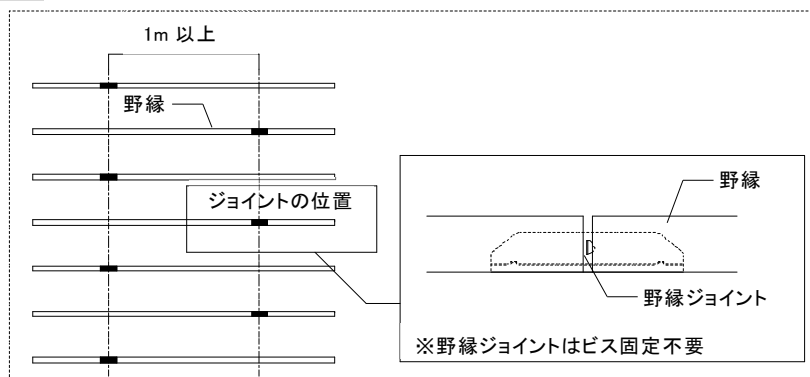


図 2-2-5 野縁の継手

2-3 ベース材の取付け

野縁に対してベース材およびベース材(端部)を取付ける。ベース材はグラスウールボードのサイズに応じたピッチで設置し、ビス固定する。(図 2-3-1 参照)

なお、ベース材(端部)とメインベース材を先行して取付け、その間を埋めるようにクロスベース材を取付ける。

- ・ メインベース材および同方向ベース材(端部)
ベース材と野縁が交差するすべて箇所をビス固定する
- ・ クロスベース材および同方向ベース材(端部)
ベース材の両端および中央部へビス固定する

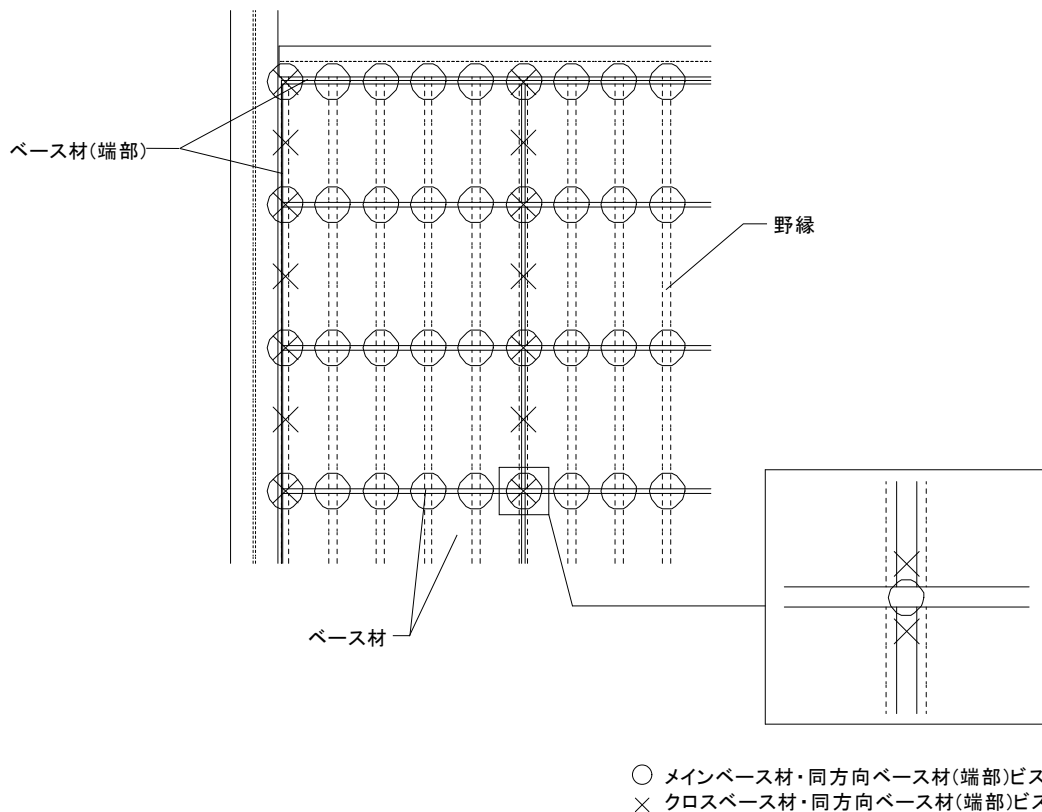


図 2-3-1 ベース材の取付け(見上げ図)

ベース材は、野縁に1箇所につきビス2本で固定する。(図 2-3-2 参照)

ベース材(端部)は、野縁に1箇所につきビス1本で固定する。(図 2-3-3 参照)

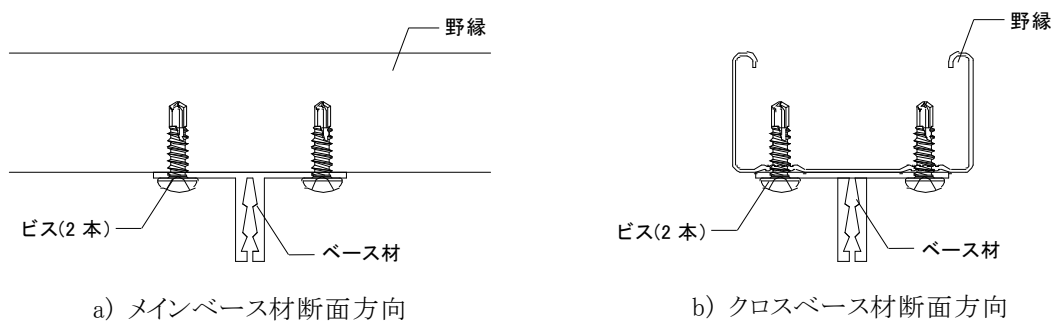


図 2-3-2 ベース材(中間部)のビス固定

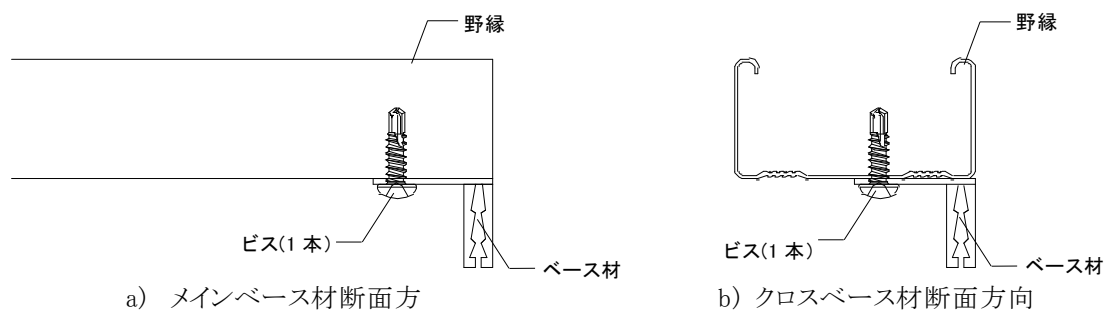


図 2-3-3 ベース材(端部)のビス固定

ベース材が交差する箇所では、ベース材が重ならないよう長さを調整して取り付ける。(図 2-3-4 参照)

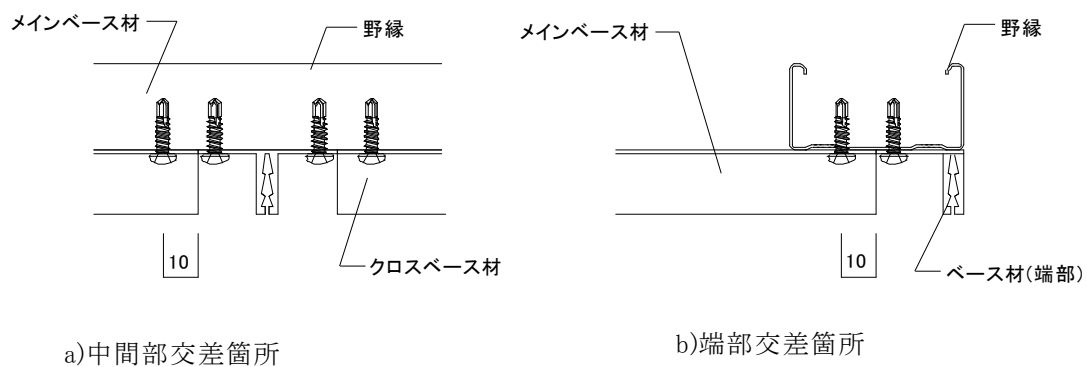


図 2-3-4 ベース材交差箇所

メインベース材を継ぐ際は、ジョイント部を野縁の直下に来るようにカットし取り付ける。(図 2-3-5 参照)

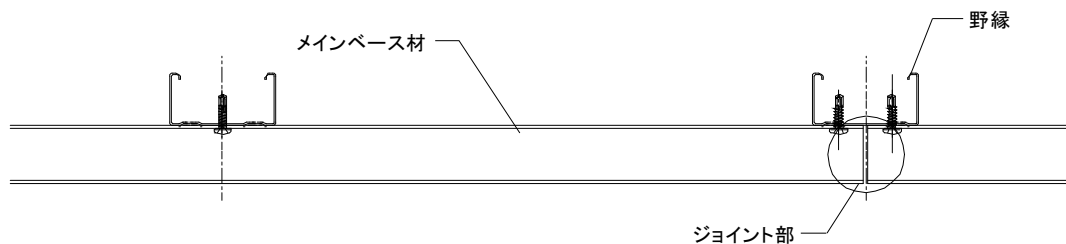


図 2-3-5 メインベース材のジョイント

2-4 グラスウールボードとカバー材の取付け

グラスウールボードをベース材間に設置し、カバー材およびカバー材(端部)を取付ける。(図 2-4-1 参照)

※グラスウールボードの表皮面は仕上げ面となるため、設置の際はキズ、汚れ、シワ、折れ等が発生しないよう十分に注意すること。

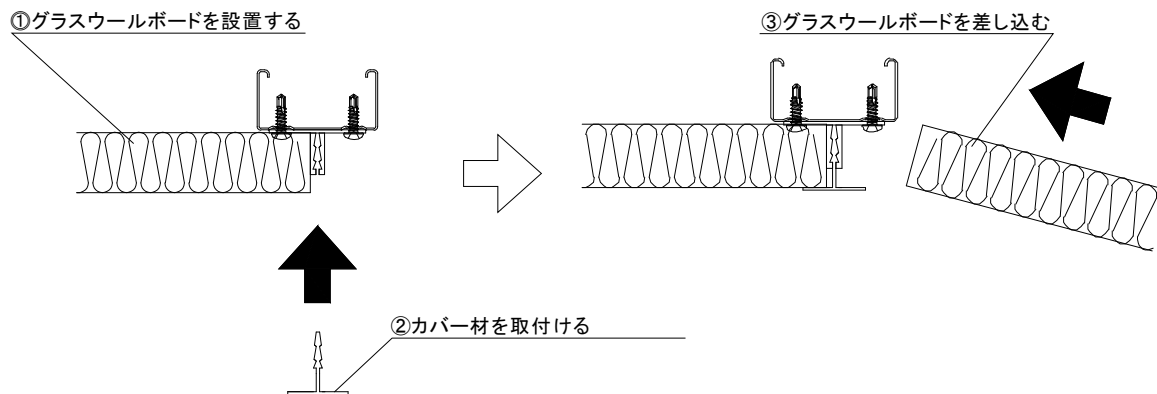


図 2-4-1 グラスウールボードとカバー材の取付け

カバー材が交差する箇所では、カバー材同士の隙間があかないよう長さを調整して取り付ける。(図 2-4-2 参照)

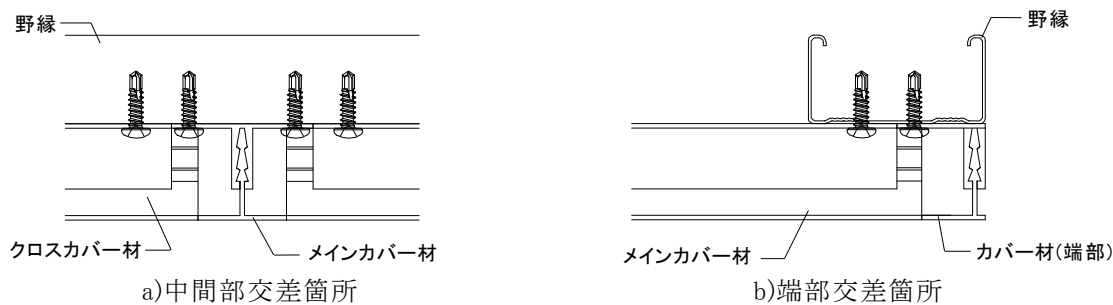


図 2-4-2 カバー材交差箇所(25mm仕様)

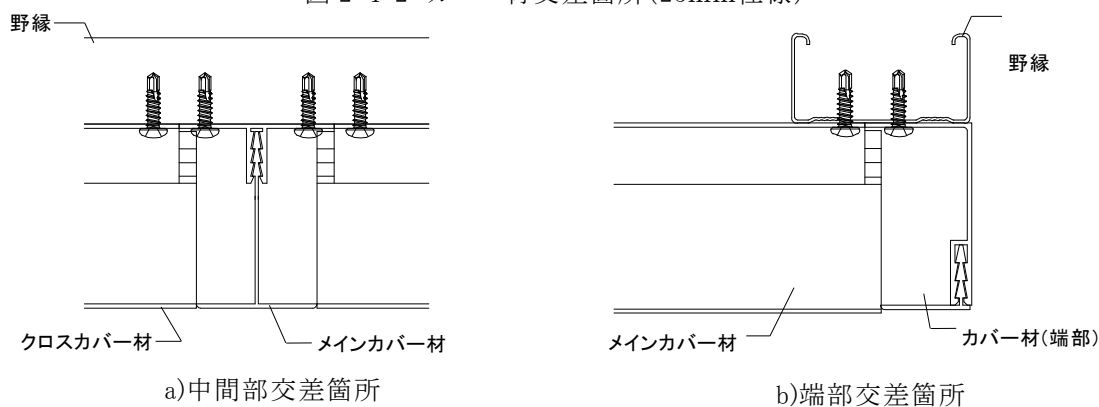


図 2-4-3 カバー材交差箇所(50mm仕様)

2-5 点検・検査

施工完了後における点検、検査は、水平精度の検査および目違いなどの点検を行うと共に、チェックリスト(本書巻末に添付)により行う。

また、仕上げ材に異常なキズ、汚れ、シワ、折れ等がないか確認し、必要に応じ補修・取替え等を実施する。

第3章 納まり施工例

3-1 開口部補強例

野縁は支持構造部(屋根母屋材)から 300mm を超えてはね出さないこととし、やむを得ず 300mm を超える場合は、補強野縁受けを設置する。(図 3-1-1 参照)

- ①野縁のはね出しが 300mm 超かつ、切断する野縁が 2 本以下の場合は補強野縁受けを設置する。
- ②野縁のはね出しが 300mm 超かつ、切断する野縁が 3 本以上の場合は支持構造部を追加設置する。

開口際は補強野縁(野縁同材)を追加し、補強野縁受けとは開口補強クリップにて、支持構造部とは、特殊クリップ+ソエル W カバーまたはアジャストソエルにて固定する。(図 3-1-2 参照)

※開口補強クリップはビス固定不要。

野縁が 3 本以上切断され、かつはね出しが 300mm を超える場合は、支持構造部(別途工事)の追加を検討してください。

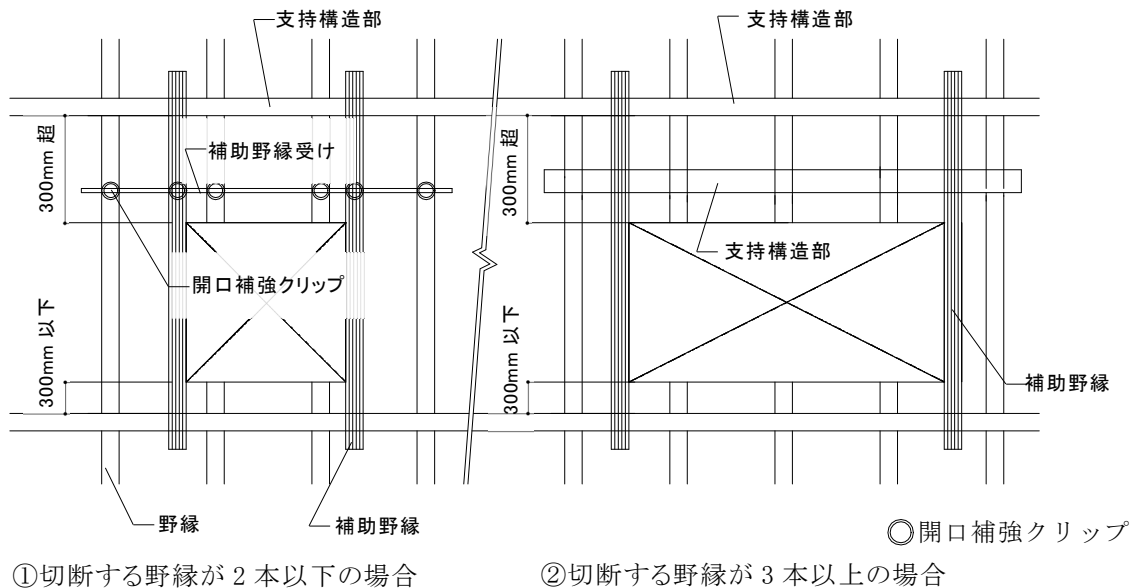


図 3-1-1 (参考例) 野縁を切断する場合の開口部補強

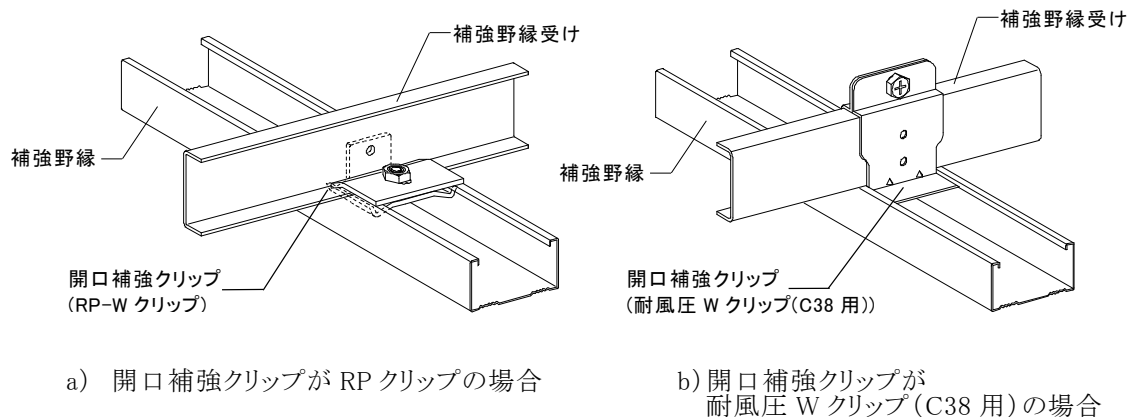


図 3-1-2 開口補強クリップ取付け詳細

開口によりジョイナーが切断される場合、ジョイナーの端部を野縁にビス固定する。開口際には廻り縁を野縁に設置しビス固定する。(図 3-1-3、3-1-4 参照)

※ジョイナーを設備機器等に固定または乗せ掛けることが可能な場合は、廻り縁を省略することが出来る。(図 3-1-5、3-1-6 参照)

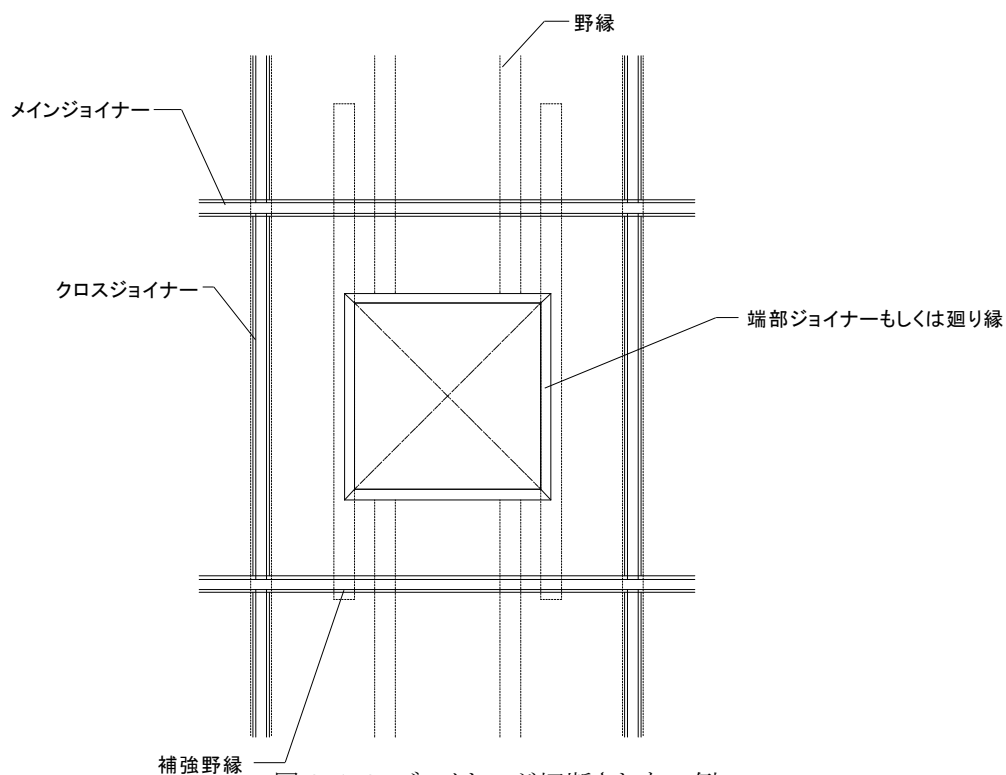


図 3-1-3 ジョイナーが切断されない例

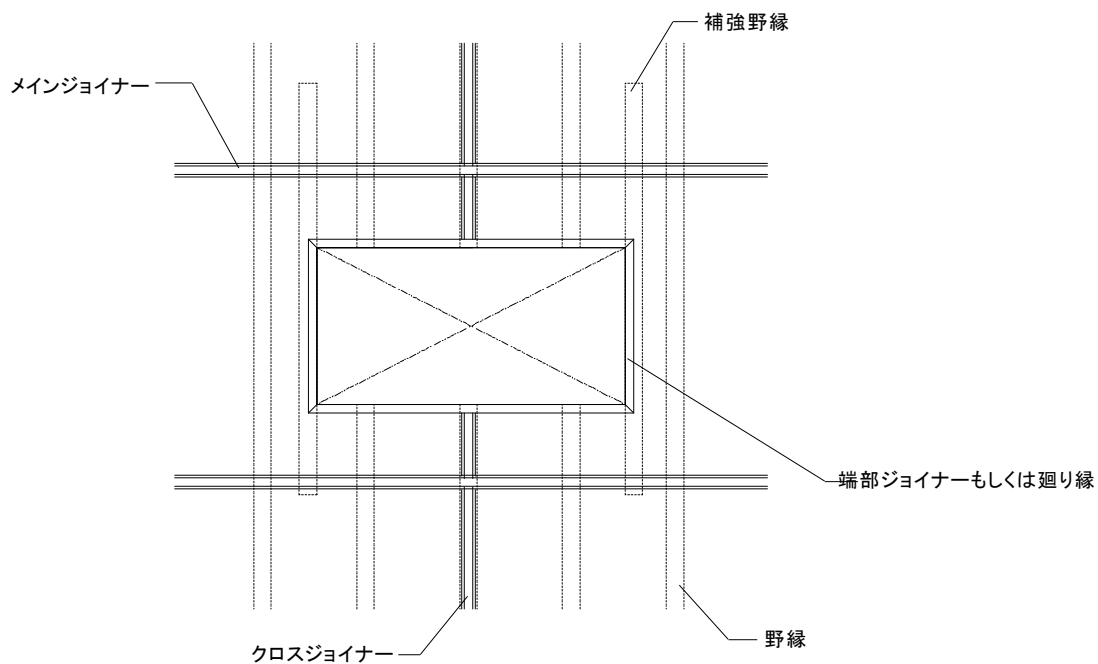
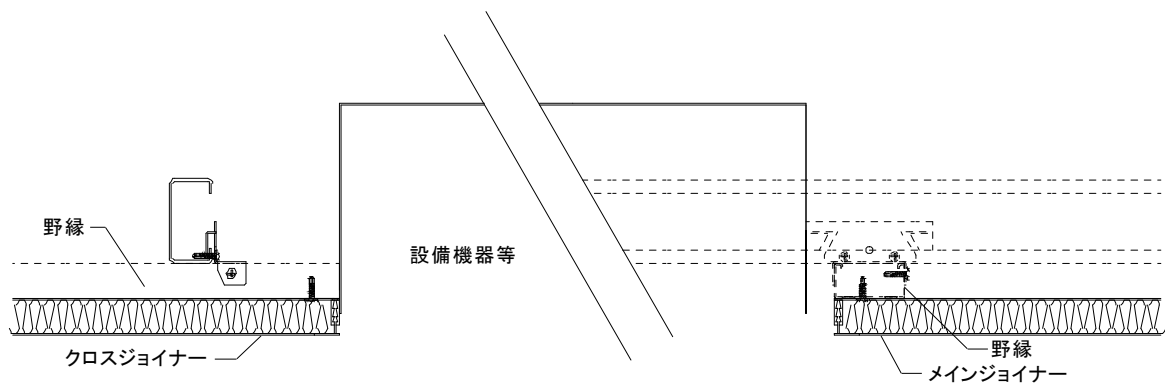


図 3-1-4 ジョイナーが切断される例

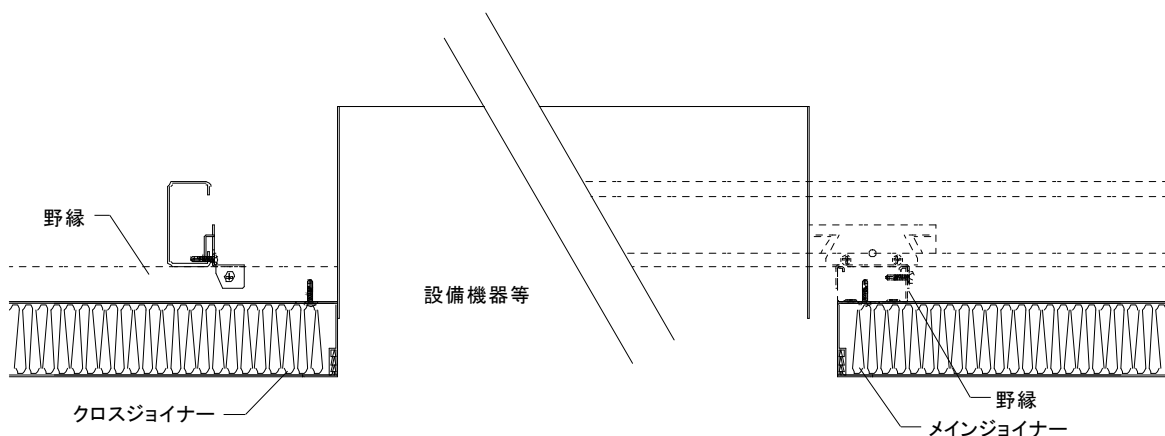


[メインジョイナー断面方向]

[クロスジョイナー断面方向]

※図はソエル W カバー、アジャストソエルも同様

図 3-1-5 (参考例)開口部の納まり(25mm仕様)



[メインジョイナー断面方向]

[クロスジョイナー断面方向]

※図はソエル W カバー、アジャストソエルも同様

図 3-1-6 (参考例)開口部の納まり(50mm仕様)

付録 施工チェックリスト(ソエル W カバー)

軽量直張工法(グラスウールボード25・50mm仕様)施工チェックリスト ソエルWカバーを使用した場合 ※最新版であることを確認してご使用ください。

点検日	年 月 日	点検時間	am/pm : ~ am/pm :
建物名称	点検箇所(室名等)		
施工者	<input type="checkbox"/>	点検者	<input type="checkbox"/>
工事管理者	<input type="checkbox"/>	工事監理者	<input type="checkbox"/>
天井高	CH= m	天井面積	面積= m ²
支持構造部	<input type="checkbox"/> C-75×45×15×1.6 <input type="checkbox"/> C-75×45×15×2.3 <input type="checkbox"/> C-100×50×20×1.6 <input type="checkbox"/> C-100×50×20×2.3 <input type="checkbox"/> その他()		
天井形状	□水平天井		
	□傾斜天井	□勾配 約26.5° (5/10)以下	
		□勾配 約26.5° (5/10)を超え45° (10/10)以下→詳細打ち合わせが必要です □有 □無	
		□勾配 45° (10/10)を超える → 本チェックリストの適用範囲外です	

※点検結果 (※現場独自の納まりに関しては別途ご確認下さい)

点検部位	点検内容(該当する部分を全てチェック)	チェック (該当がない場合は「-」)
支持構造部 (屋根母屋材)	□適切な工法で躯体に堅牢に取り付けられ、緩みやガタツキがない。	OK・NG・-
	□ガセットプレート等が野縁の施工を妨げていない	OK・NG・-
	□端部支持構造部は外周部から300mm以下の位置に配置されている	OK・NG・-
野縁	使用部材 □25形Wカバー(0.8)	OK・NG・-
	野縁間隔 □300mm程度	OK・NG・-
	はね出し寸法 □300mm以下	OK・NG・-
クリップ	使用部材 □特殊15mmWクリップ(C-75×45×15の場合) □特殊20mmクリップ(C-100×50×20の場合)	OK・NG・-
クリップ補強金具 (ソエルWカバー)	クリップ補強金具 □ソエルWカバー	OK・NG・-
	支持構造部へのビス固定 □1本(φ4.2)	OK・NG・-
	野縁へのビス固定 □2本(φ4.2)	OK・NG・-
	□緩み、がたつきが無い	OK・NG・-
クロスジョイナー	ベース材が両端および中央にビス(φ4.2)で固定されている	OK・NG・-
	カバー材がベース材に確実に取り付けられている	OK・NG・-
メインジョイナー	ベース材が交差するすべての野縁にビス(φ4.2)で固定されている	OK・NG・-
	カバー材がベース材に確実に取り付けられている	OK・NG・-
ジョイナー(端部)	クロス方向のベース材が両端および中央にビス(φ4.2)で固定されている	OK・NG・-
	メイン方向のベース材が交差するすべての野縁にビス(φ4.2)で固定されている	OK・NG・-
	カバー材がベース材に確実に取り付けられている	OK・NG・-
	グラスウールボードの乗せ掛かり □8mm程度	OK・NG・-
天井仕上げ材	グラスウールボードに意匠上不具合となり得る『キズ、汚れ、シワ、折れ』等がない	OK・NG・-
開口部の補強	補強野縁受け □開口補強クリップにて施工されている □補強野縁受け無し	OK・NG・-
	ジョイナー □端部をビス固定	OK・NG・-
ドリルねじ	□メーカー名() □4.2×16 □4.8×25 □その他()	OK・NG・-
提出日		年 月 日

©2022 KIRII CONSTRUCTION MATERIALS CO.,LTD.

付録 施工チェックリスト(アジャストソエル)

軽量直張工法(グラスウールボード25・50mm仕様)施工チェックリスト アジャストソエルを使用した場合 ※最新版であることを確認してご使用ください。

点検日	年 月 日	点検時間	am/pm : ~ am/pm :
建物名称	点検箇所(室名等)		
施工者	<input type="checkbox"/>	点検者	<input type="checkbox"/>
工事管理者	<input type="checkbox"/>	工事監理者	<input type="checkbox"/>
天井高	CH= m	天井面積	面積= m ²
支持構造部	<input type="checkbox"/> C-100×50×20×2.3 <input type="checkbox"/> その他()		
天井形状	<input type="checkbox"/> 水平天井		
	<input type="checkbox"/> 傾斜天井	<input type="checkbox"/> 勾配 約26.5° (5/10)以下	
		<input type="checkbox"/> 勾配 約26.5° (5/10)を超え45° (10/10)以下→詳細打ち合わせが必要です <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
		<input type="checkbox"/> 勾配 45° (10/10)を超える → 本チェックリストの適用範囲外です	

※点検結果 (※現場独自の納まりに関しては別途ご確認下さい)		
点検部位	点検内容(該当する部分を全てチェック)	チェック (該当がない場合は「-」)
支持構造部 (屋根母屋材)	<input type="checkbox"/> 適切な工法で躯体に堅牢に取り付けられ、緩みやガタツキがない。	OK・NG・-
	<input type="checkbox"/> ガセットプレート等が野縁の施工を妨げていない	OK・NG・-
	<input type="checkbox"/> 端部支持構造部は外周部から300mm以下の位置に配置されている	OK・NG・-
野縁	使用部材 <input type="checkbox"/> 25形Wバー(0.8)	OK・NG・-
	野縁間隔 <input type="checkbox"/> 300mm程度	OK・NG・-
	はね出し寸法 <input type="checkbox"/> 300mm以下	OK・NG・-
クリップ (アジャストソエル)	使用部材 <input type="checkbox"/> アジャストソエル	OK・NG・-
	支持構造部へのビス固定 <input type="checkbox"/> 1本(φ4.2)	OK・NG・-
	野縁へのビス固定 <input type="checkbox"/> 2本(φ4.2)	OK・NG・-
	<input type="checkbox"/> 緩み、がたつきが無い	OK・NG・-
クロスジョイナー	ベース材が両端および中央にビス(φ4.2)で固定されている	OK・NG・-
	カバー材がベース材に確実に取り付けられている	OK・NG・-
メインジョイナー	ベース材が交差するすべての野縁にビス(φ4.2)で固定されている	OK・NG・-
	カバー材がベース材に確実に取り付けられている	OK・NG・-
ジョイナー(端部)	クロス方向のベース材が両端および中央にビス(φ4.2)で固定されている	OK・NG・-
	メイン方向のベース材が交差するすべての野縁にビス(φ4.2)で固定されている	OK・NG・-
	カバー材がベース材に確実に取り付けられている	OK・NG・-
	グラスウールボードの乗せ掛かり <input type="checkbox"/> 8mm程度	OK・NG・-
天井仕上げ材	グラスウールボードに意匠上不具合となり得る『キズ、汚れ、シワ、折れ』等がない	OK・NG・-
開口部の補強	補強野縁受け <input type="checkbox"/> 開口補強クリップにて施工されている <input type="checkbox"/> 補強野縁受け無し	OK・NG・-
	ジョイナー <input type="checkbox"/> 端部をビス固定	OK・NG・-
ドリルねじ	<input type="checkbox"/> メーカー名() <input type="checkbox"/> 4.2×16 <input type="checkbox"/> 4.8×25 <input type="checkbox"/> その他()	OK・NG・-
提出日		年 月 日

軽量直張天井(グラスウールボード 25・50mm 仕様) 標準施工要領書

2022年 6月20日 初 版 (ver. 202206a)

2023年10月 1日 第2版 (ver. 202310a)

2024年 2月13日 第3版 (ver. 202402a)

2025年12月 9日 第4版 (ver. 202512a)

株式会社桐井製作所

〒100-6605 東京都千代田区丸の内 1-9-2 グラントウキョウサウスタワー5階

TEL 03-4345-6005 FAX 03-6895-0220

※商品改良等の為、予告無く規格その他を変更することがありますのでご了承ください。

※本書の内容の一部または全部を、当社の許可なしに複製、複写、転載することを禁じます。